



特定非営利活動法人

# 医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.11 (164)

2017.11.27

「晩秋」を味わう間もなく、一抛に「冬」へ突入といった感じです。年間の季節の中で、最も味わい深いとされる「秋」が、短く過ぎていきます。今年も残り一ヵ月となりました。2017年の結びを印象深く飾るために、元気を出して2018年へつなぎましょう。

1 定例研究会〔東京〕が以下の次第で開催されました〔敬称略〕。

日時：2017年10月27日（金）. 13時~17時

場所：ファイザー(株)

演者・演題：

大江基貴. 共変量調整を伴うロバストな2標本検定.

丸尾和司. 経時データにおけるベキ変換の応用.

五十川直樹. 国際共同試験でのBayesian credible subgroups approachを用いた地域間差の評価.

藤澤正樹. 『統計的経験則』から (1).

松原義弘. 日常のなかの統計科学.

後藤昌司. 『統計的経験則』から (2).

課題検討会は「みょうがや」で開かれ、7名の方々が参加されました。

2 10月28日（土）に開催されました定例シンポジウム2017「医療で必要とされる統計的基礎知識」の参加者からのご感想を以下に掲載いたします。時宜の関係で遅くなりました。ご容赦ください。

## 定例シンポジウム2017の主題およびご講演・討論についてのご意見・ご感想

- ・数式を極力使用せずに、概念を中心に解説してくださり、大変に理解しやすい（講演）内容でした。現在、修士論文のテーマとして「生存時間解析」を学んでいたため、藤井陽介さんの講演とその後にいただいた助言が大変に有用でした。来年も出席したいと考えております。（阿部大介）
- ・幅広い内容で大変に勉強になりました。ありがとうございました。Spotfireを有効に活用したいと思います。（匿名）
- ・統計的方法の数学的な裏付けが説明されていてよかった。もう少し数学的な解説に時間をかけてもよいかもしいない。ソフトウェアやデータベースの紹介は要らなかった。（小寺一平）
- ・メタ・アナリシスについて、その基礎も知りませんでした。基本的なことから解説していただけたので、とても理解しやすかった。今後、もっとメタ・アナリシスについて勉強したくなりました。

(匿名)

・統計的方法の話は、奥が深く演者によって話す視点や方向性が異なるため、同じテーマで様々な演者の話を聴くことで統計学の視野が広がると思います。(匿名)

・講演Ⅳと講演Ⅴに関して、少し営業の色が強く、自分の会社がやっていることや自社ソフトの使い方の説明が目立った。その裏にある統計解析の手法やデータの適切な扱い方といったものが本シンポジウムの本来の趣旨であると思うので、焦点を医学統計学にしっかり合わせていただければ幸いである(お金を払ってきているので対価となる知識がほしい)。ただし、その他の講演に関してはとても教育的であり、紙面では得られない知識を得ることができた。今後も講演Ⅰ、講演Ⅱのような踏み込んだ内容で題材に至るまでまんべんなく統計知識をインプットできるような貴重な場としての役割を担ってほしい。(匿名)

・全体を通して非常に勉強になりました。とくに講演Ⅰのような基礎は何度受けても(毎回少しずつ忘れるので)私のようにアウトプットの解釈ばかりに目のいく人間にとっては助かります。ありがとうございました。講演Ⅳも非常に面白かった。シングル・アームでの話であったため、話がOncology中心でしたので、ワクチンの方でも事例がないか個人的に調べてみようと思いました。(I・S)

・統計的基礎知識というタイトルでありながら、最近の話題までのお話があり、ためになりました。

(匿名)

・講演Ⅰ、Ⅱにつきましては、とても身近な相関と回帰、生存時間解析を非常にわかりやすく、注意点とともに教えていただき、大変に有意義でした。講演Ⅲにつきましては、言葉だけ何となく知っていたNMAについてどのように解釈すればよいか理解できてよかった。講演Ⅳは、期待外れでした。Spotfireの宣伝を行うのであれば、自社での直接デモをお願いします。皆さん困っているのはどのツール・ソフトウェアを使うかではなく、データを解釈するためにどのような図表を用い、どのように理解すればよいのか、ではないでしょうか。講演Ⅴは、今、旬の医療情報PBの話を伺えて刺激を受けました。講演Ⅵは、Bayes流と名前だけ聞いたことがあったのですが、どのような利用方法が考えられるのかわかって有意義でした。(匿名)

・基礎となる事項から始まり、最近の話題のトピックの触りを幅広く扱っていただいたので勉強になりました。ただ、一部、誰を対象として展開されたお話なのかかわからないところもあったので、内容の深度や話題に一貫性が欲しかった。(匿名)

・Spotfireは使用方法がわかれば使い勝手のよいソフトだと思います。(匿名)

・難しい理論をわかりやすくご説明いただいたので、推定量の意味をより深く理解できた。短時間で多くの内容がカバーされており、自分の理解の整理にもなりました。Bayesの話も実例を踏まえてご解説いただいたのでわかりやすかった。(匿名)

・初心者、統計科学に苦手意識のある私にもわかりやすい基本講座で勉強になりました。実務と関連した話題であったことも、理解が深まった一因だと感じています。本日の内容は、実際に研究したり、論文を書く人だけではなく、論文を読む人、論文データをプロモーション活動に利用する人など、もっと広くの人にも知ってもらいたいと感じました。とくに、午前のセッションは「汎用されてるからこそ、誤用が多い」という座長のコメントのとおり、基礎を学ぶことの重要性を再認識しました。今後は、インプットいただくことだけでなく、ワークショップ形式で、論文の解釈(モデルの妥当性など)を討議する時間があれば、一層理解が深まると思いました。(松本亜美)

- ・新しいトレンドの話も盛り込んでいただき、大変に勉強になりました。実例も取り入れて各先生が工夫された内容でわかりやすかった。(匿名)
- ・今回初めて参加させていただきました。基本的な内容とのことでしたが、私にとっては知らないことばかりで、大変に勉強になりました。特に講演 I, II, V がよかった。日々の実務に役立たせることができそうです。(匿名)
- ・初めて参加させていただきましたが、幅広い話題をとりあげていただき、大変に勉強になりました。とくに「午後の部 2」が、最近の取り組みとして興味深かった。統計学の知識が浅いため、一部の内容についていけないところがありましたが、今後の業務に役立つ内容であったので、次回以降も、機会があれば参加させていただきたいと思います。(匿名)
- ・解析手法やデータの取り扱いにおいて、「適用上の問題点」について解説いただけたのが大変に参考になりました。今後そういった視点での勉強を心がけたいと思います。(匿名)
- ・この度は、本シンポジウムに参加させていただきありがとうございました。実例をふんだんに用い、講義いただいたことで、イメージしやすく、今後（もしくは現在從事中）の業務へのあてはめを想像しやすかった。架空のデータを用い、講義を聴きながら動かしてみる（各自が統計ソフトを用い）ことができれば、より習得スピードが早まると思いました。(吉木康真)
- ・リアル・ワールド・データや今までの Study の情報・結果を使用していく流れになっていることを実感しました。大変に勉強になりました。ありがとうございました。(K・T)
- ・特に講演 I, II, III, V は初心者にもわかりやすく有意義でした。(匿名)
- ・大変に豊富な内容で勉強になりました。Bayes 流デザインの実例について興味があって参加したのですが、ネットワーク・メタ・アナリシスなど普段耳にしているにもかかわらずわからない内容に触れることができました。関連の文献を検討し、理解を深めたいと思います。(匿名)
- ・講演 I：統計学の基礎的な部分を噛み砕いて解説していただき、非常にわかりやすかった。基本的ではあるが、 $n$ を増やしたら有意な差はつくものの、有意な差かどうか、議論・考察することの重要性を再認識した。講演 II：生存時間データを扱う試験を担当したことがない私にも、非常に内容がスツと入ってくる講義でした。(匿名)
- ・相関・回帰・生存時間解析といった基礎的な内容から具体的な例を用いてご説明いただいたため、とても理解しやすく有難かった。また、自分の中では新しいネットワーク・メタ・アナリシス、Bayes 流接近法について知識を得ることができました。(匿名)
- ・基本的な統計手法についてわかりやすく説明があり、大変に勉強になった。(匿名)
- ・午前中に行った基礎的な事項の解説を改めて聞くことは、自分が教える立場に立った時の参考になると感じた。(田澤 司)
- ・幅広いテーマで基本のお話から先端のお話まで伺え、大変に勉強になりました。(匿名)
- ・とても面白くて勉強になりました。スライドもきれいでわかりやすかった。Cox ハザードのところは、もう少し聞きたかった。発表の順番もちょうどよくて、休憩も多く、素晴らしい。(匿名)
- ・統計的な基礎知識はもちろん、データベースについてなど、最新の動向のお話をいただき、大変に勉強になった。(匿名)
- ・大変に勉強になりました。ありがとうございます。実例を挙げて、最新の情報を盛り込んでいただき非常に興味深く拝聴しました。特に、中村先生のリアル・ワールド・データのお話では、最近に話題

になっているレセプト・データの活用の長所・短所をご説明いただき、また、今後の展望も実現に向け、ぜひとり組んでいただきたい内容でした。 (匿名)

・最新の話題やおさえるべき重要な基本的な内容をわかりやすく紹介していただき、勉強になりました。リアル・ワールド・データの話は、今後、アカデミアや企業などユーザー側からの事例についても紹介してほしい。 (I・Y)

・基本から新しい知識まで勉強になりました。自分の知識を整理する上で、また、勉強のきっかけを得るうえで大変よい機会となりました。ぜひ今後も参加させていただきたい。ありがとうございます。 (永吉真子)

#### 今後にとりあげるべき主題や話題についてご意見・ご提案

・観察研究、リアル・ワールド・データ解析の事例紹介、causal Inference に関する内容。 (I・Y)

・Multiple imputation, Repeated analysis(SAS でいう Mixid モデルや Joint モデル), 因子分析。 (匿名)

・Bayes 流接近法, 一般化線形混合効果モデル, 時系列データ解析, 多重検定 (多重比較)。 (匿名)

・医療への AI 応用, 電子カルテのテキスト・マイニング。 (田澤 司)

・Bayes 流統計学についての基礎. 用量反応関係を検討(確認)する手法のまとめ(MCP-Mod や NDLM, BMA など). Adaptive design についての総評 (当局からみた Adaptive design の受け入れが可能な範囲など)。 (匿名)

・「基礎知識」ということで、Bayes 流接近法についても基礎から教えていただきたい。 (匿名)

・個人的には、因果推論などもテーマに入れていただけるとありがたい。 (匿名)

・レジストリ研究の臨床試験への応用の展望。 (匿名)

・観察研究を中心としたバイアスを調整するための手法で、その実務的な注意点や進め方を扱っていただきたい。 (匿名)

・HTA と薬価決定プロセスの今後。 (匿名)

・多重性の検討について (臨床試験等で使われる閉検定など)。データベースという点では MID-NET について概要が知りたい。 (I・S)

・ビッグ・データの扱い方の他、機会学習やディープ・ラーニングをデータに適応する方法や応用例を提示・説明する研究会があるとありがたい。 (匿名)

・リアル・ワールド・データの有効活用。 (匿名)

#### 特定非営利活動法人・医学統計研究会の諸種の活動についてご要望やご提案

・会場が自社で便利でした。効率的にスキルアップすることができました。 (匿名)

・初めて参加し、有意義にすごすことができました。今後も継続した活動をお願いしたい。 (松本亜美)

・とても良い会でした。今後も機会があれば参加したいと思います。 (匿名)

・東京・大阪以外での開催を希望 (金沢など)。 (田澤 司)

・とても興味深く、勉強になる内容ですので、広く広報していただきたい。参加費がもう少し安いと(あるいは、学生価格があれば)、学生も参加しやすいと思います。 (匿名)

アンケートをお寄せいただいた方々に感謝いたします。ご意見は今後の企画の参考にさせていただきます。ありがとうございました。・・・・・・・・・・・・・・・・松原義弘・後藤昌司



— 定例シンポジウム 2017 でのひとこま —





—課題検討会でのひとこま—

③ 定例会[大阪]が以下の次第で開催されました [敬称略].

日時：2017年11月10日（金）. 14時~17時

場所：参天製薬㈱ 会議室

演者・演題：

- ・池田敏広：Evaluation by Effect Size with Power Normal Distribution.
- ・吉川隆範：2重ベキ加法化変換に基づくパラメトリックモデルの推測.
- ・尾崎寿昭：形状不変モデルの適用における平滑化パラメータの影響評価.
- ・松原義弘：日常の観察から.
- ・後藤昌司：統計的経験則.

課題検討会は「魚魚家」で開かれ、5名の方々が参加されました.

④ 日本計算機統計学会・第31回シンポジウムが以下の次第で開催されました [敬称略].

日時：2017年11月16日（木）-17日（金）.

会場：和歌山県立医科大学

組織者：下川敏雄・谷岡健資

本研究会からも多数の方々（約20名）が座長、講演者として参加されました.



ーシンポジウムにおける講演のひとこまー



ー学会・懇親のター

5 今後の予定をお知らせいたします。来年にわたりますので、予定に書き入れていただくと幸いです[敬称略].

(1) ウィンター・フォーラム 2017 が以下の次第で開催されます。

①研究・活動報告会

日時：2017年12月2日（土）9時30分～17時30分

会場：豊中市立中央公民館 講座室

住所：豊中市曾根東町 3-7-3

②納会

日時：2017年12月2日（土）18時～21時

会場：「順平」

(2) 定例研究会 [東京] が以下の次第で開催されます。

日時：2017年12月8日 (金) 13時～17時

会場：ファイザー㈱

幹事：河合統介・大江基貴・五十川直樹

(3) 定例会 [大阪] が以下の次第で開催されます。

日時：2017年12月23日 (土)

会場：医学統計研究会オフィス

幹事：池田敏広・尾崎寿昭・吉川隆範

今年、最後の会としてオフィスの「大掃除」を行います。

(4) 特定主題シンポジウム2018「製薬企業におけるデータ・サイエンティストの役割」が、以下の次第で開催されます。

日時：2018年2月3日 (土) 9時50分～17時30分。

会場：アステラス製薬㈱ 会議室

組織者：伊藤雅憲・山口祐介・河合統介

プログラムは近日中に配信いたします。多くの方々のご参集をお願いいたします。

(5) 大分統計談話会・第57回大会が以下の次第で開催されます。

日時：2018年2月8日 (木) -9日 (金)。

会場：富士通大分システムラボラトリ 2F AVホール

世話人：越智義道

幹事 [窓口]：志賀 功・衛藤俊寿

プログラムは近日中に配信いたします。多くの方々のご参集をお願いいたします。

メールアドレス：[isao\\_shiga@jp-css.com](mailto:isao_shiga@jp-css.com) , [toshihisa.eto@jp.fujitsu.com](mailto:toshihisa.eto@jp.fujitsu.com)

---

編集後記：毎年、暮れの「借金取」のような真似はしたくありませんが、「特定非営利活動法人」としての懐具合は芳しくありません。今年度分およびそれまでの未納の方々[以下の会員番号]には、早急に納入していただくようお願いいたします。

会費未納状況：0410017, 0410028, 0410030, 0510044, 0710060, 0710061, 0910067, 0910069, 0910071, 1210074,  
0530010, 0530012, 0530018, 0630020, 1030046, 1530069  
0720027, 1320038,

---

Newsletter 編集：

後藤昌司・松原義弘・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲・吉川隆範

連絡先：医学統計研究会 事務局 [吉田 舞・後藤 孚]

〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号

Tel & Fax：06-6835-8790 / e-mail：[bra\\_goto@ybb.ne.jp](mailto:bra_goto@ybb.ne.jp) / URL：<http://www.bra.or.jp>

本ニューズレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます。